

小学校で「投げ方」指導

前川小学校の児童たちに投げ方を教える戸田中央メディックス埼玉の(左から)鬼澤麻純、山北莉乃両選手―チーム提供
 (※画像の一部を加工しています)



女子ソフト戸田中央選手ら

女子ソフトボールの戸田中央メディックス埼玉(戸田市)の選手が、川口市立前川小学校を訪れ、児童たちにボールの投げ方などを指導した。

14日は前川小の5年生を対象に、15日は3年生対象に実施した。参加選手計10人がソフ

トボールのピッチングやキャッチボールの模範を見せ、子どもたちに遠くに投げるための正しい投げ方を教えた。上島紗羽選手は「短い時間でしたが、充実した時間にすることができました。『楽しかった』と言われてうれしかったし、私たちも

初心に戻った気持ちになりました」と振り返った。

チームは7、11日に戸田市立戸田第一小学校でも同様のソフトボール教室を行っている。

2021年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、県内の小学5年生の男女は「ボール投げ」(投てき力)が全国平均を下回る傾向が続いている。【坂本高志】